

検電・配線チェッカー(SEC-950)専用 死線用アダプター AD-950P 取扱説明書

このたびは、死線用アダプターAD-950Pをお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読み下さい

用途

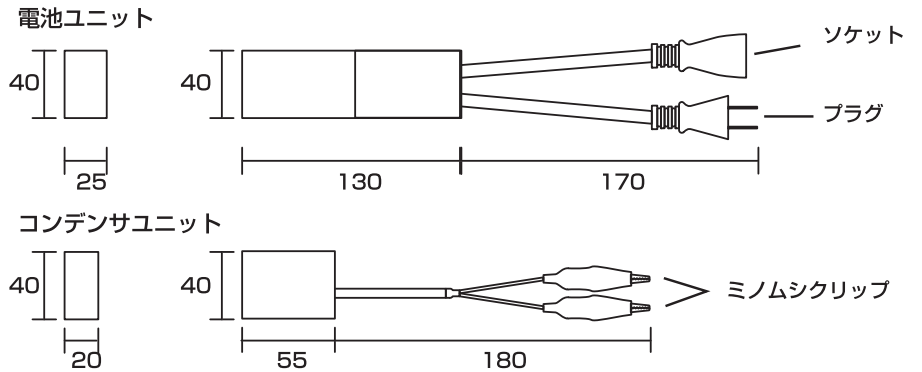
本器は、検電・配線チェッカーSEC950に接続することにより、通電されていない死線状態の電気配線経路・一般配線経路の探査をすることができますので、新築・リニューアル工事等における配線経路の事前チェックに威力を発揮します。

特長

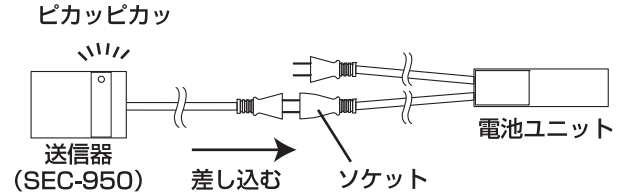
通電されていない死線状態の電気配線経路を探査することができる

ご使用前の確認

(図1)の様に、SEC-950の送信機のプラグを電池ユニットのソケットに差し込んで、送信機のLEDが発光してピカッ・ピカッと点滅することを確認してください。この時、送信機のLEDの発光が弱い、または発光しない場合は電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池に交換してください。



(図1)



死線配線経路を探査する場合の使用方法

1. 探知したい配線経路先端にコンセントが接続されている場合は(図3)の様に、配線の先端にコンセントが接続されていない場合は(図4)の様に、各ユニットを接続してください。

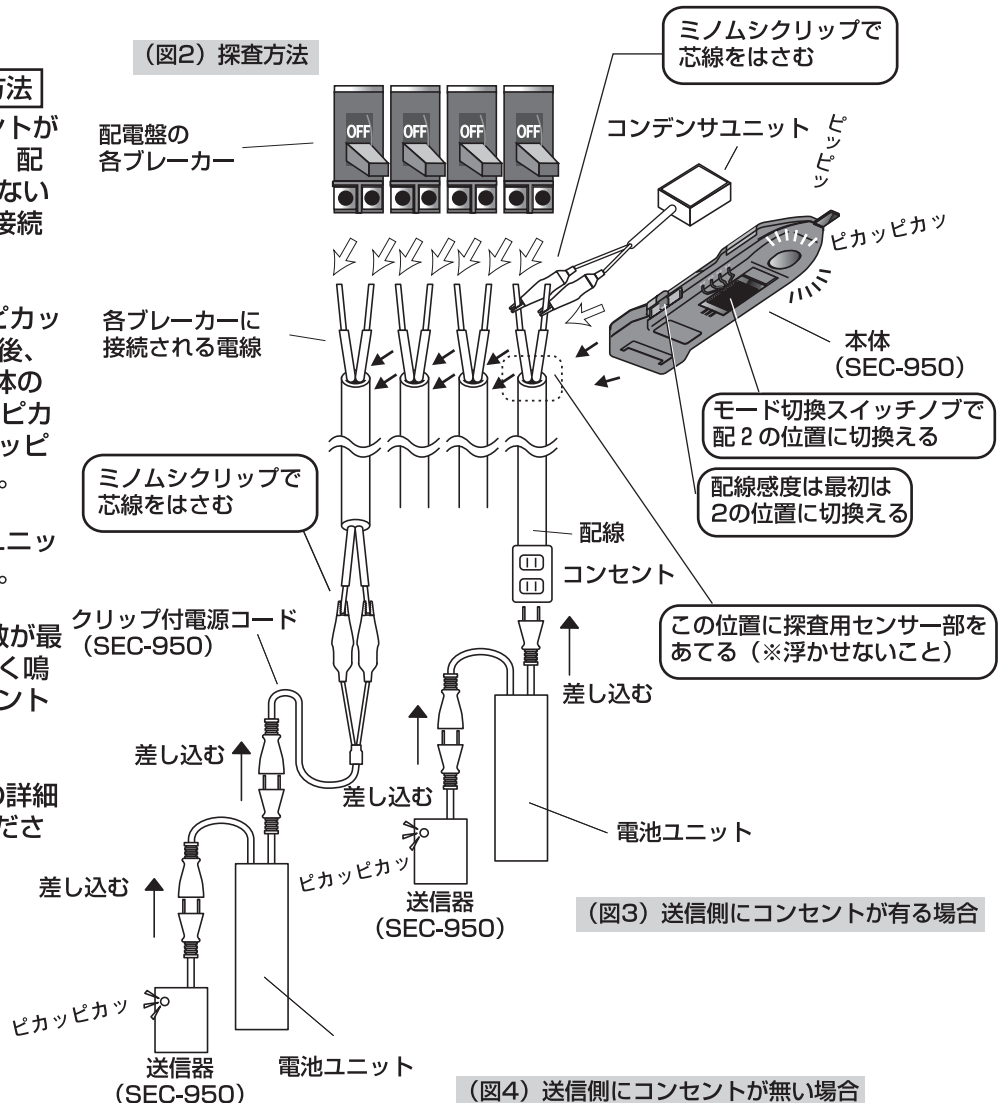
2. 接続が完了したら送信機のLEDがピカッピカッと点滅していることを確認した後、(図2)の様に点線で囲んだ位置に本体の探査用センサー部を当て本体のLEDがピカッピカッと点滅する状態やブザーがピピッと鳴る音の状態を観察してください。

3. この操作を各配線毎にコンデンサユニットを接続しながら順次行ってください。

4. 上記の操作の結果、本体のLEDの数が最も多く点滅し、ブザーの音が最も大きく鳴る配線が、送信機が接続されたコンセントに接続されている目的の配線です。

5. 尚本体の操作方法、感度調整方法の詳細はSEC-950の取扱説明書をごらんください。

(図2) 探査方法



(図3) 送信側にコンセントが有る場合

(図4) 送信側にコンセントが無い場合

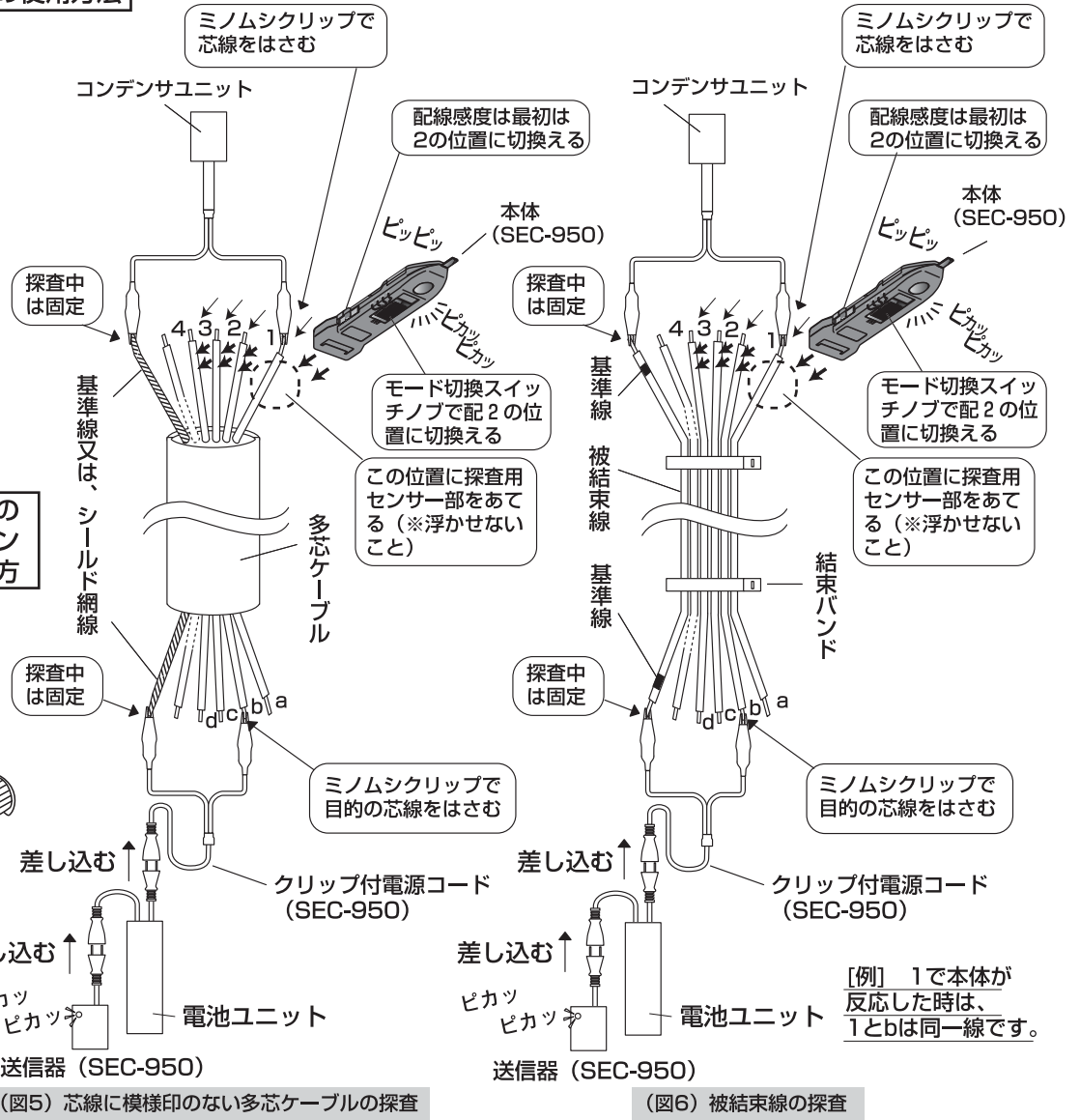
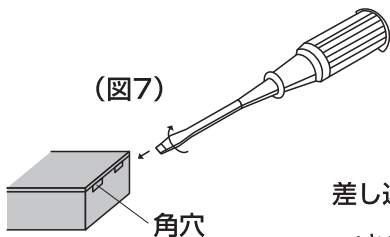
一般配線経路を探索する場合の使用法

1. 各芯線に模様印の付いていない多芯ケーブル、各種の線が数多く束ねられた結束線等の一般配線経路を探索する場合は(図5)、(図6)の様に各ユニットを接続してください。

2 本体の操作方法、感度調整方法は上記の[死線経路を探索する場合の使用法]と同様なのでそちらを参照してください。

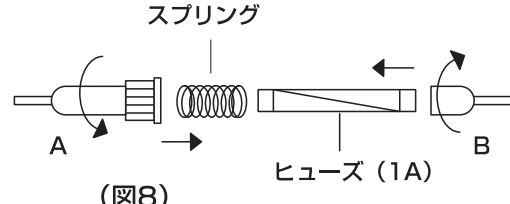
電池交換時、ヒューズ交換時の電池ユニットケース、コンデンサユニットケースの蓋の開け方

(図7)の様に適当な大きさのマイナスドライバーの先を角穴に差し込んで回しながらこじあげてください。



ヒューズの交換方法

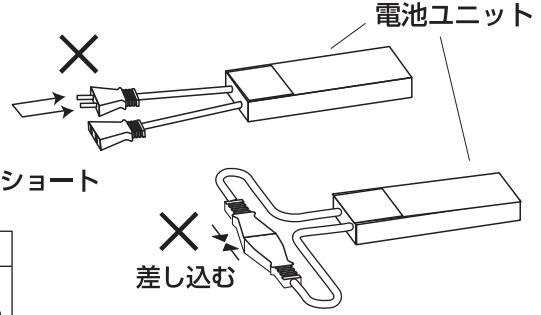
誤って通電されている配線に、電池ユニット、コンデンサユニットを接続された場合、保護ヒューズが溶断しますので、その時は(図8)の様にヒューズホルダーのAとBの部分を矢印の方向に回しながら、ヒューズホルダー内のスプリングを紛失しない様にして、ヒューズ(1A)を交換してください。



(注意) 事故の原因になりますので、指定容量(1A)以外のヒューズを使用しないでください。

注意

- 電池の寿命が短くなりますので下記の事に御注意ください。
- 電池ユニットのプラグの金属部分をショートさせないでください。
- 電池ユニットのプラグとソケット同志をお互いに差し込まないでください。



仕様

電池ユニット 電池寿命 アルカリ：70時間 マンガン：35時間 電池：006P・9V×2 保護ヒューズ：1A(5.2Φ×20mm) 重量：195g ACプラグ・ACソケット付	コンデンサユニット 耐電圧：25VD.C無極性 保護ヒューズ：1A(5.2Φ×20mm) 重量：51g ミノムシクリップ付
--	--